

## 平成 26 年度河川水、海水、地下水及び土壌の放射性物質の測定結果

市では、東日本大震災に伴う原発事故に由来する放射性物質による環境への影響を把握するため、夏季及び冬季に市内の河川水 12 地点（多摩川 2 地点含む）、海水 3 地点、地下水 3 地点及び土壌 3 地点で放射性セシウム（セシウム 134、セシウム 137）濃度を測定しました。今後も、年 2 回継続的に調査を実施し、その結果をお知らせしてまいります。詳しくは市ホームページをご覧ください。

区 分	測定地点	夏季	冬季
河川水	多摩川・六郷橋、二ヶ領用水円筒分水下流・今井仲橋、麻生川・耕地橋 他 9 地点	不検出	不検出
海 水	浮島沖、東扇島沖、扇島沖	不検出	不検出
地下水	南河原こども文化センター、久本薬医門公園、稲田公園	不検出	不検出
土 壌	幸スポーツセンター、中原区役所中庭、麻生区役所中庭	94 ~ 195 ベクレル /kg ※	89 ~ 159 ベクレル /kg ※

※セシウム 134、セシウム 137 の合計

参考：放射性物質汚染対処特措法に基づき国が処理することになっている、焼却灰などの廃棄物を指定する基準は、放射能濃度 8,000 ベクレル / kg を超えるものです。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000040709.html>

問い合わせ先：環境局環境対策課 TEL 200-2516 FAX 200-3922

## 大気中の放射線量モニタリング結果（平成 27 年 4 月）

市では、環境総合研究所（川崎区殿町）、中原大気測定局（中原区小杉町）及び麻生大気測定局（麻生区百合丘）で、建物屋上及び当該測定地点の地表面付近の放射線量（ガンマ線）について測定を行っており、4 月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 建物屋上（連続測定）・・・約 0.02 ~ 0.04 マイクロシーベルト / 時間で推移（4 月 12 日現在）
- 地表面付近（月 1 回測定）・・・測定結果は次のとおりであり、いずれの地点、高さにおいてもほぼ同じ数値で推移

地表面からの高さ	環境総合研究所 (土・草地)	環境総合研究所 (アスファルト)	中原大気測定局 (アスファルト)	麻生大気測定局 (土・草地)
100cm・50cm・5cm	0.05	0.04 ~ 0.05	0.06 ~ 0.07	0.06

※マイクログレイ / 時間で測定した値をマイクロシーベルト / 時間に換算して表記しています。

※原子力規制庁によると、「緊急時は、1 グレイ = 1 シーベルト」として換算します。

※文部科学省によると、一般的な自然界の放射線量レベルの範囲は 0.03 ~ 0.1 マイクロシーベルト / 時間です。なお、神奈川県が川崎市内 5 か所に設置しているモニタリングポスト（地上約 3m）の平成 21 年度（福島第一原子力発電所の事故以前）の年平均値は 0.023 ~ 0.042 マイクロシーベルト / 時間でした。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000037968.html>

問い合わせ：環境局環境対策課 TEL 200-2516 FAX 200-3922

## 浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果（平成 27 年 4 月）

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場の敷地境界で空間放射線量（ガンマ線）の測定を行っています。また、埋立処分場の内水等の放射能濃度（放射性セシウム濃度）についても測定を行っており、4 月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 埋立処分場空間放射線量（連続測定）・・・0.043 ~ 0.064 マイクロシーベルト / 時間で推移（4 月 12 日現在）
- 埋立処分場の内水等・・・測定結果は次のとおり

単位：ベクレル / L

	測定値	基準等	測定頻度
埋立処分場内水	2.3 ~ 2.6 (検出下限値：1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	週 1 回
放流水	2.2 (検出下限値：1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	放流時
外海水	不検出 (検出下限値：1.0)		放流時

※上記掲載の測定値は、3 月 16 日から 4 月 12 日までの期間に測定したものになります。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000045121.html>

問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923